

## 西日本代表、 庶民派フグ

にっこり笑っているかのよう  
な愛嬌のある口元。美しい縞模  
様。そして学名の由来ともなっ  
ている黄色い鰭。今回ご紹介す  
る魚は、有明海でよく水揚げさ  
れる「シマフグ」です。これま  
でも何度かグラバー図譜につ  
いて解説していただいていた長崎  
大学水産・環境科学総合研究科  
教授の山口敦子先生にお話を  
伺いました。

「シマフグは、このサバのよう  
な縞模様のためか、南島原では  
『サバ太郎』と呼ばれています。  
高級魚として名高いトラフグと  
同じ春から初夏にかけて、産卵  
のために外海から有明海の入  
り口付近にやってきたところを  
トラフグとともに漁獲されますが、  
シマフグの売値はトラフグの一  
〇分の一。その身はふくよかで、  
刺し身でも食感が優しく、唐揚  
げはふんわりした口当たりでト  
ラフグより好む方も多いほどで  
す。北海道でも見られるトラフ  
グとは違い、分布域はそれほど  
広くなく、暖かい九州沿岸など  
の西日本で主に見られます。西  
日本代表の庶民派フグといった  
ところですね。ただ、市場に出  
回るときにはすでに皮をはがれ

た身欠きフグとなってしまう  
ますので、この美しい黄色い鰭  
や縞模様を見たことのある人は  
少ないでしょう」

安くて美味しく、顔も可愛  
いし。なんだか毒もなさそうで  
「とんでもない、毒もトラフグ  
並ですよ。卵巣と肝臓にあるフ  
グ毒(テトロドトキシン)の強さ  
は青酸カリの一〇〇〇倍とも言  
われています。この毒は、海洋  
細菌が生産したもので、食物連  
鎖を通じて最終的にフグの体内  
に取り込まれることがかって  
います。シマフグは、仔魚期に  
プランクトンなど、稚魚期にな  
ると貝やアミ類などを食べるの  
ですが、生後いつの時期にどの  
餌を通じてフグ毒を持ち始める  
のかは調査中です。それにこの  
鳥のくちばしのような歯にも用  
心しなければいけません。フグ  
の仲間には歯が癒合して上下で計  
四枚あるのが特徴なのですが、  
鋭く強靱で、私も以前稚魚を採  
集中に手が触れて激しく噛みつ  
かれたことがあります。痛かつ  
たですよ！ その鋭い歯でハリ  
スや網を噛みちぎってしまうこ  
とで釣り人や漁業者を悩ませて  
います。いけすに入れておけば、  
お互い噛み合うほどです」  
なんと！ 毒もあって歯も鋭  
い、天下無敵な魚ですね。

## 有明海の ゆりかごで育つ

「有明海の入りに口で孵化したシ  
マフグは、海流にのって有明海  
北部へと運ばれます。実は、そ  
の頃のシマフグとトラフグは、  
外見からは区別がつかないほど  
良く似ているんですよ。夏にな  
ると佐賀や福岡の大きな川の河  
口域で稚魚が見られるようにな  
ります。シマフグに限らず、こ  
のあたりにはさまざまな魚の卵  
や仔稚魚が生息しています。河  
口域は、想像以上に多種類の魚  
の大切なゆりかごであることが、  
最近の調査で分かってきました。  
エサになるプランクトンがたく  
さんあって大きな捕食者が少な  
いからでしょう。ここですくす



Glover Atlas

# シマフグ

Takifugu xanthopterus  
画家 萩原魚仙

グラバー図譜  
日本西部及び南部魚類図譜

Fishes of Southern  
& Western Japan



トラフグ  
Takifugu rubripes  
画家 小田紫星

こちらは高級魚としてお馴染みのトラフグ。  
成熟するとシマフグよりずっと大きくなり、  
最大70cmに達することもあるとか。

くと育ったシマフグが、外海に  
出て、そしてまた成熟して産卵  
できるように戻ると戻ってきま  
す。漁は、佐賀、福岡、熊本、長崎  
とすべての県でそれぞれの海を  
回遊する季節に行われますが、  
佐賀あたりですとサイズもまだ  
数センチと小さく、長崎の南の  
方では大きなもので全長五十七  
センチほどの成熟したシマフグが  
水揚げされるのです」

遺伝的に近いせいか、トラフ  
グとシマフグの雑種がみられる  
ことも、たまにあるのだとか。  
その場合、いくらの売値がつく  
のか、興味深いところですよ。

### 解説 山口敦子

長崎大学水産・環境科学  
総合研究科教授  
Yamaguchi Atsuko  
東京大学大学院農学生命  
科学研究科博士課程修了。  
2000年から長崎大学。専門  
はエイやサメなど魚類学と水  
産資源学の研究。主な著書  
に「干潟の海に生きる魚たち  
—有明海の豊かさ危機」(東  
海大学出版)など。



長崎大学附属図書館のホームページでもご覧いただけます。

<http://oldphoto.lib.nagasaki-u.ac.jp/GloverAtlas/>